



Sustainable Community Center Japan

NPO
New Public Organization
欲しいものは自分達で創る

2019 年度 活動報告書

2019 年 1 月 1 日～2019 年 12 月 31 日

2020 年 2 月 14 日

特定非営利活動法人
日本サステイナブル・コミュニティ・センター
<http://www.sccj.com/>

目次

はじめに 「2019年度の報告と今後の抱負」

I センター事業活動実績

1. ユビキタス地域健康・医療・福祉情報ネットワーク事業「どこカル. ネット」
 - 1-1. どこカル. ネットの活動概要
 - 1-2. どこカル. ネットのサービス概要
 - 1-3. どこカル. ネットの各種活動実績
 - 1-4. どこカル. ネット運営体制

2. 公衆無線インターネット事業「みあこネット方式」普及支援事業
 - 2-1. みあこネット方式普及支援事業の事業概要
 - 2-2. みあこネット方式普及支援事業の各種活動実績
 - 2-3. みあこネット方式普及支援事業の運営体制

3. 暮らしの食と農を身近に、こころ豊かな社会の創造事業「アグリライフ」
 - 3-1. アグリライフの活動概要
 - 3-2. アグリライフの各種活動実績
 - 2-3. アグリライフの運営体制

4. 研究会事業（産官民学の活発な人材交流）
 - 4-1. 京都研究会

5. 広報・マーケティング
 - 5-1. 各種メールマガジンリスト運営
 - 5-2. Web サイト運営

6. 会員について

II センター運営に関する活動

1. 総会開催
2. 2019年度 SCCJ 理事会開催日
3. 事務局体制
4. 理事、監事、顧問

はじめに 「2019 年度の報告と今後の抱負」

2019 年度の特定非営利活動法人日本サスティナブル・コミュニティ・センター（SCGJ）の総会にあたり、会員並びに関係者の皆様にご挨拶を申し上げます。2019 年度も皆様のお力添えをいただき、滞りなく活動を進めることができましたこと、深く感謝申し上げます。

2019 年度も例年のように 1 月には第 20 回京都研究会を開催することができました。そこでは、「少子高齢化・人口減少社会に対して、私達は ICT で何が出来るか」をテーマとして、同年 1 月 25 日（金）に講演会と討論会を開催しました。徳島県上勝町の事例や小規模事業者の活性化、ICT 技術の革新など、多面的に議論をすることができました。

また、「どこカル. ネット」では、ポケットカルテの開発と普及を推進してきました。「どこカル. ネット」の研修会については毎月着実に開催してまいりました。また総務省事業にかかる「地域 ICT 利活用広域連携事業」地域共通診察券運営協議会の月例の開催も行っていました。「未来のお医者さん看護師さん」作文コンクールも滞りなく実施いたしました。いよいよ「ポケットカルテ」も、マイナンバーカードが健康保険証として活用される展開との関連において、これからは地域における共通の医療情報基盤として広がりを見せ始めています。

2020 年は、ポケットカルテを基盤とした「どこカル. ネット」の飛躍の節目の年になりそうです。私たちは持続可能なコミュニティづくりを目指してたゆまず進んでいきたいと思えます。会員および関係者各位の一層のご指導ご鞭撻、そしてご支援をお願いいたします。

2019 年 2 月吉日

特定非営利活動法人
日本サスティナブル・コミュニティ・センター
代表理事 新 川 達 郎

I センター事業活動実績

1. ユビキタス地域健康・医療・福祉情報ネットワーク事業「どこカル. ネット」

<http://www.dokokaru.net>

1-1. どこカル. ネットの活動概要

どこカル. ネットは、近年、少しずつ普及しはじめた医療機関毎の電子カルテシステムをインターネット上で安心・安全に相互利用するための仕組みをつくることで、いつでも、だれでも、どこでも、安心・安全で質の高い医療を受けることが出来るような（すなわち、どこでもカルテが見ることが出来るような）地域の情報化を住民の手で実現しようというプロジェクトとして、2004年5月に開始。

「どこカル. ネット」プロジェクト開始以前に、北岡顧問が支援してきた3つの二次医療圏を経て、現状、50の二次医療圏の地域中核病院に対して標準化型電子カルテの導入支援や情報化支援を行ってきた。

また、2008年10月より、個人の健康履歴（検診データ管理、紹介状管理、入退院サマリー）を、インターネットを介して携帯端末やPCを用い、個人主体で管理可能なサービス「ポケットカルテ」の本サービスを開始している。

1-2. どこカル. ネットのサービス概要

■特徴：いつでも、どこでも、だれでも、安心安全で質の高い医療を受ける事が出来る社会的な仕組み作り

【1】 いつでも：ASP型電子カルテをツールとして、「かかりつけ医（診療所）」と「病院」で24時間体制の連携を目指し、診療情報の共有（一地域一患者一電子カルテ）を行う。（注：ASP型電子カルテとは、インターネットエクスプローラーなど、ホームページ閲覧ソフトのみで利用可能な電子カルテのことである。）

【2】 どこでも＝ユビキタス：「みあこネット方式普及支援事業」プロジェクトとの協業により、医療機関内だけでなく、患者＝住民の自宅や外出先での急病で初診した医療機関、救急現場に居合わせた医療関係者に過去の診療情報を共有やその情報に基づく適切な医療が可能。

【3】 だれでも：ITコンソーシアム京都（京都府・京都市・京都商工会議所と有識者で構成）医療情報化部会との協業で進められている「共通診察券（無償）」を持つ事で、適切な医療を受けることが可能。

【4】 安心安全：「みあこネット方式普及支援事業」の高度なセキュリティを持った公衆無線インターネット用アクセスルータ（無線基地局）を利用。また、医療従事者や患者＝住民の識別や認証には、「共通診察券」と「指静脈紋認証（生体認証のひとつ）」を組み合わせている為、世界最高レベルの環境を提供している。さらに、診療情報の共有により、薬アレルギーや現在内服中の薬との飲み合わせのチェック等がその場で可能。→医療過誤防止へ。

【5】 質の高い健康・医療・福祉：共有されている診療情報の内、本人のご承諾が得られた情報については匿名化し、「その地域の住民特有の」健康・医療・福祉情報として統計解析し、「その地域の住民に最適な」健康・医療・福祉環境を探求する。また、解析結果を基に、一人一人の住民に最適な健康・医療・福祉をテラーメイドで提供。

1-3. どこカル. ネットの各種活動実績

2019年度は以下の活動を実施した。

■「どこカル. ネット」事業会議

週1回、北岡顧問、スタッフ一同で定例会議を実施。2019年度においては計43回の会議を開催した。

■ 医療機関・学術団体向けの医療情報システム・医療関連システム導入・構築・更新に対するコンサルテーション

医療機関側に不足しがちな IT スキルを補い、助言をし、医療機関と同じ立場で導入ベンダと交渉等を行う。また、医療情報を適切に扱う体制作りや、問題解決に対する助言、支援を実施。2016 年度終了迄に定期的な支援を行った医療機関は 50 病院。2017 年度以降は休止している。

■ 「ポケットカルテ®」～個人向け健康情報管理サービス～

1995 年 1 月 17 日、我々は阪神・淡路大震災を経験した。その復興の中で、医療機関の壊滅や火災による紙カルテの消失や焼失を経験し、「自らのデータは自ら守る」ことの重要性和、大規模災害時などにそれを支えるためのセーフティネットの必要性を痛感した。この経験から、「患者中心の医療」を実現すべく構築したものが個人向け健康・医療・福祉・介護情報履歴管理サービス「ポケットカルテ®」(※)である。

個々の住民が自らに最適化された医療を享受するためには、当該個人の詳細な病歴や成長発達記録などが必要となるが、個々の住民がその情報を保持していることは極めて稀で、医療機関の診療記録のみが頼りとなっている。この医療機関ごとに管理されている住民の医療履歴を自ら時系列に集約管理できる仕組みづくりとして、演者が考案・開発し、特定非営利活動法人日本サスティナブル・コミュニティ・センター(京都府京都市、以下、NPO 法人 SCCJ) が運営主体となって、「ポケットカルテ®」を広く日本全国に無償でサービス提供している。

「ポケットカルテ®」はクラウド型 PHR(Personal Health Records)あるいは PLR(Personal Life-log Records) サービス、すなわち、利用者自身の生涯にわたる健康・医療・福祉・介護履歴情報を預けることのできる「情報銀行」であり、携帯電話やスマートフォンあるいはインターネットに接続可能な PC があれば全国何処でも無料で利用可能である。

安倍内閣は 2018 年 6 月 15 日に「経済財政運営と改革の基本方針(いわゆる骨太の方針 2018)」を閣議決定した。この中で、「Society 5.0」の実現に向けて今後取り組む重点分野と変革の牽引力となる「フラッグシップ・プロジェクト」として、「次世代ヘルスケア・システムの構築プロジェクト」が盛り込まれ、「PHR について、2020 年度より、マイナポータル(個人向け行政ポータルサイト)を通じて本人等へのデータの本格的な提供を目指す。」と明記された。

また、「経済財政と運営の基本方針 2019～「令和」新時代:「Society 5.0」への挑戦～」(2019 年 6 月 21 日閣議決定)においては、「生まれてから学校、職場など生涯にわたる健診・検診情報の予防等への分析・活用を進めるため、マイナポータルを活用する PHR との関係も含めて対応を整理し、健診・検診情報を 2022 年度を目途に標準化された形でデジタル化し蓄積する方策をも含め、2020 年夏までに工程化する」こととされており、今後は他の健康・医療等情報等も含めた PHR の活用も期待されている。

これを受けて、我が国の PHR についての目的や方向性を明確にした上で、自身の健康に関する情報について電子データ等の形での円滑な提供や適切な管理、効果的な利活用が可能となる環境を整備していくため、関係省庁や省内関係部局との連携の下、2019 年 9 月 11 日から「国民の健康づくりに向けた PHR の推進に関する検討会」が始まり、その実作業班として 2020 年 1 月 15 日から「民間事業者による PHR の適正かつ効果的な利活用に関する作業班」が活動を開始し、当法人顧問である独立行政法人国立病院機構京都医療センター医療情報部長北岡有喜博士も有識者として参加している。

(※)「ポケットカルテ®」 当法人顧問である独立行政法人国立病院機構京都医療センター医療情報部長北岡有喜博士が企画・考案し、当法人がサービスを提供している個人向け健康医療福祉履歴情報管理サービス(PHR: Personal Health Record)で、利用者は、専用のサイト「ポケットカルテ®」に会員登録し、携帯電話・PHS、スマートフォン、パソコンなどの情報端末から自身の健康・医療・福祉の情報を管理することができる。

2008 年秋からサービスの提供を開始し、様々なメディアで紹介され、正式サービス開始から 4 ヶ月間(2009 年 1 月時点)で、10,000 ユーザーを突破した。サービス開始当初に対応していた携帯電話・PHS に加え、普及が目覚ましいスマートフォンやタブレット端末にも対応し、より多くのユーザーが快適に利用できるようになり、現在(2019 年 12 月末時点) 60,976 人のユーザーが実利用している。

■ 平成 31 年度「地域共通診察券(すこやか安心カード)運営協議会」ならびに「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会の実施

地域共通診察券事業の進捗状況の共有と、今後の事業展開等についてのディスカッションを行うため、毎月第 3 木曜に運営協議会を実施した。また、同日同会場にて、地域共通診察券事業に関連するテーマにおける「ポケットカルテ®」「地域共通診察券」合同勉強会を実施した。

<地域共通診察券(すこやか安心カード)運営協議会 開催日>

平成 31 年 2 月 21 日	第97回「地域共通診察券運営協議会」 第88回「ポケットカルテ®」「地域共通診察券」合同勉強会
平成 31 年 4 月 18 日	第98回「地域共通診察券運営協議会」 第89回「ポケットカルテ®」「地域共通診察券」合同勉強会
平成 31 年 6 月 13 日	第99回「地域共通診察券運営協議会」 第90回「ポケットカルテ®」「地域共通診察券」合同勉強会
平成 31 年 8 月 22 日	第100回「地域共通診察券運営協議会」 第91回「ポケットカルテ®」「地域共通診察券」合同勉強会
平成 31 年 10 月 17 日	第101回「地域共通診察券運営協議会」 第92回「ポケットカルテ®」「地域共通診察券」合同勉強会
平成 31 年 12 月 12 日	第102回「地域共通診察券運営協議会」 第93回「ポケットカルテ®」「地域共通診察券」合同勉強会

今後も、「ポケットカルテ®」「地域共通診察券（すこやか安心カード）」を通して、医療の情報化、地域住民の健康増進への貢献、電子行政サービスの普及を推進し、さらに利用者の統計データの活用により新しいサービスを創造することを目指していく。



写真：地域共通診察券運営協議会での様子

■ 「どこカル. ネット」会員研修会

本プロジェクトの概要と現状、進捗状況等について情報共有すると共に、会員互の連携・親睦を図る機会として2ヶ月に一度開催。2019年度においては6回の研修会を開催した。

<研修会開催日>

- ・ 2019年1月25日（金） 第86回どこカル. ネット会員研修会
- ・ 2019年3月15日（金） 第87回どこカル. ネット会員研修会
- ・ 2019年5月17日（金） 第88回どこカル. ネット会員研修会
- ・ 2019年7月12日（金） 第89回どこカル. ネット会員研修会
- ・ 2019年9月13日（金） 第90回どこカル. ネット会員研修会
- ・ 2019年11月29日（金） 第91回どこカル. ネット会員研修会



写真：会員研修会での様子

■ 「未来のお医者さん・看護師さん作文コンクール」の実施

将来の医療従事者の育成・発掘、また創造的な医療分野の開拓を目的とし、小学生を対象とした作文コン

クールを実施。

第15回目の開催となる2019年度は、全国の小学生から作文が応募され、全国各地偏りなく400字詰めいっぱいに書かれた力作が多く集まった。最優秀賞該当作品はなかったものの、未来の医療に対し多くの子供達が夢を抱いていることがどの作品からも読み取ることができ、開催の意義が感じられた。

■ 2019年の主なイベント一覧

- ・ 01月10日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 01月24日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 01月31日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 01月25日：第20回京都研究会2018~2019
- ・ 01月25日：どこカル. ネット第86回会員研修会
- ・ 02月01日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 02月01日：月刊J-LIS-地方自治情報誌-2月号巻頭インタビュー記事掲載
「スマートグラスによる遠隔医療で医療技術を継承する」
- ・ 02月07日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 02月14日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 02月21日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 02月21日：第97回(平成30年度第6回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 02月21日：第88回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 02月22日：【生駒市役所】医療費等適正化推進委員会
- ・ 02月28日：【J-LIS】第21回経営審議委員会の事前説明
- ・ 03月14日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 03月25日：ITコンソーシアム京都様総会開催
- ・ 03月25日：ITコンソーシアム京都様平成30年度第2回委員会及びセミナー開催
- ・ 03月15日：どこカル. ネット第87回会員研修会
- ・ 04月04日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 04月11日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 04月18日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 04月18日：第98回(平成31年度第1回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 04月18日：第89回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 05月02日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 05月09日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 05月15日：【北野病院】第92回研究所セミナー 研究会にて発表
- ・ 05月16日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 05月17日：どこカル. ネット第88回会員研修会
- ・ 05月23日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 06月05日：【J-LIS】第22回経営審議委員会の事前説明会
- ・ 06月06日：【J-LIS】第22回経営審議委員会参加
- ・ 06月13日：第99回(平成31年度第2回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 06月13日：第90回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 06月13日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 06月20日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 06月22日：【いのちの科学研究会】例会で講演
- ・ 06月27日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 06月28日：【ITコンソーシアム京都】委員会・総会・講演会・情報交流会
- ・ 07月04日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 07月11日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 07月12日：どこカル. ネット第89回会員研修会
- ・ 07月18日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 07月25日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 08月01日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 08月08日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会

- ・ 08月08日：【京都府がん医療戦略推進会議】開催
- ・ 08月21日：【産経新聞社】総務省 地域 ICT 利活用広域連携事業「地域共通診察券（すこやか安心カード）第100回運営協議会の開催を告知掲載
- ・ 08月21日：【日本経済新聞社】「医療データ、患者が管理」をと題し、MDV株式会社（企業会員）代表取締役社長岩崎様のインタビュー記事が掲載
- ・ 08月22日：第100回（平成31年度第3回）「地域共通診察券（すこやか安心カード）発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 08月22日：第91回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 08月22日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券（すこやか安心カード）」プロジェクト定例会
- ・ 09月05日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券（すこやか安心カード）」プロジェクト定例会
- ・ 09月07日：【第8回エビデンスに基づく統合医療研究会】特別講演会
- ・ 09月12日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券（すこやか安心カード）」プロジェクト定例会
- ・ 09月13日：どこカル. ネット第90回会員研修会
- ・ 09月19日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券（すこやか安心カード）」プロジェクト定例会
- ・ 09月26日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券（すこやか安心カード）」プロジェクト定例会
- ・ 10月03日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券（すこやか安心カード）」プロジェクト定例会
- ・ 10月10日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券（すこやか安心カード）」プロジェクト定例会
- ・ 10月16日：【第1回民間事業者によるPHRの適正かつ効果的な利活用に向けた勉強会】参加
- ・ 10月17日：第101回（平成31年度第4回）「地域共通診察券（すこやか安心カード）発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 10月17日：第92回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 10月17日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券（すこやか安心カード）」プロジェクト定例会
- ・ 10月24日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券（すこやか安心カード）」プロジェクト定例会
- ・ 10月31日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券（すこやか安心カード）」プロジェクト定例会
- ・ 11月07日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券（すこやか安心カード）」プロジェクト定例会
- ・ 11月14日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券（すこやか安心カード）」プロジェクト定例会
- ・ 11月18日：【第2回民間事業者によるPHRの適正かつ効果的な利活用に向けた勉強会】参加
- ・ 11月21日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券（すこやか安心カード）」プロジェクト定例会
- ・ 11月29日：どこカル. ネット第91回会員研修会
- ・ 12月05日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券（すこやか安心カード）」プロジェクト定例会
- ・ 12月12日：第102回（平成31年度第5回）「地域共通診察券（すこやか安心カード）発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 12月12日：第93回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 12月12日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券（すこやか安心カード）」プロジェクト定例会
- ・ 12月12日：IPA加賀谷様ご講演の情報セキュリティセミナー開催
- ・ 12月26日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券（すこやか安心カード）」プロジェクト定例会

1-4. どこカル. ネット運営体制

■ 運営体制 <http://www.dokokaru.net/modules/tinyd0/index.php?id=7>

【責任者体制】

役職	氏名	所属
事業統括責任者	北岡 有喜	国立病院機構京都医療センター医療情報部長
事業運営責任者	事業統括責任者兼務	
総括技術責任者	事業統括責任者兼務	
技術運用責任者 (情報通信技術担当)	小森 由宗	NPO 法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター
財務責任者	事業統括責任者兼務	

【担当顧問】

氏名	所属

北岡 有喜	国立病院機構京都医療センター医療情報部長
國領 二郎	慶應義塾常任理事

【企業/企業会員】

種別	企業名	企業名
企業会員	アイテック阪急阪神株式会社	泉工医科工業株式会社
	株式会社アドバンスト・メディア	ティック株式会社
	株式会社医用工学研究所	株式会社テノ. ホールディングス
	株式会社インスパイア	となみ衛星通信テレビ株式会社
	株式会社 Enhanlabo	株式会社ナイス
	株式会社帯広シティーケーブル	ニッセイ情報テクノロジー株式会社
	京都電測株式会社	日本デジタル配信株式会社
	株式会社KCN京都	株式会社ハートネットワーク
	KDDI株式会社	株式会社フェイス
	サトーヘルスケア株式会社	富士通株式会社
	株式会社スカイコム	株式会社ミライテクノ
	スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社	メディカル・データ・ビジョン株式会社
	一般財団法人聖マリアンナ会	リコージャパン株式会社

他4社、計30社（50音順、2019年12月末現在）

2. 公衆無線インターネット事業「みあこネット方式」普及支援事業

<http://www.miako.net/>

2-1. みあこネット方式普及支援事業の事業概要

みあこネットとは、市民の手で自分の住んでいる地域を情報化しようというプロジェクトで、当法人の呼びかけにより2002年5月から広がり、市民有志の負担でアクセスポイントを設置・運用する活動である。企業内、家庭内におけるネットワークへ、安心・安全に基地局を運営し、また利用者にとっても簡単に公衆でインターネット接続を利用できる方法として、VPNを利用した「みあこネット方式」を提唱し、同方式の普及支援活動を実施してきた。

プロジェクト開始から2005年3月末までの3年間は、SCCJを運営母体とする実証実験を実施。2005年4月～2008年3月末は、京都の地域プロバイダ「京都アイネット」での商用運用の採用があり、地域内情報バリアフリーの一役を担った。同社は2008年3月をもって、「みあこネット方式」を用いた商用運用を終了している。

2008年4月からは、「みあこネット方式」に準拠したサーバをパッケージ化し、京都大学や京都医療センター独自の運用として自律分散的に運用されてきた。現在は新たなプロジェクトを休止している。

2-2. みあこネット方式普及支援事業の各種活動実績

本年度の活動実績なし

2-3. みあこネット方式普及支援事業の運営体制

■ 運営体制 <http://www.miako.net/about/organization.shtml>

【みあこネット責任者】

役職	氏名	所属
事業統括責任者	北岡 有喜	国立病院機構京都医療センター医療情報部長

3. 暮らしの食と農を身近に、こころ豊かな社会の創造事業「アグリライフ」

<http://www.agri-life.net/>

3-1. アグリライフの活動概要

ICTを活かした安心・安全な食と農のある暮らしの根ざす地域社会作り、都市と農村の持続可能な交流と

産業モデル作りを行う。なお、アグリライフは2005年より実施している「ここちネット」の掲げる理念「障害の有無や、性別、年齢にかかわらず自律性、自発性、創造力を発揮できる安心・安全な社会モデル作り」はそのまま踏襲し、2009年6月1日付けで発展的改称した事業である。アグリライフの事業は、上記理念を掲げる事業を行う主催事業と、他団体・企業に対する企画立案、各種支援事業に分けられる。アグリライフは、2011年1月末をもってすべての事業を終了し、現在は新たなプロジェクトを休止している。

3-2. アグリライフの各種活動実績

本年度の活動実績なし。

3-3. アグリライフ運営体制

■ 運営体制

【責任者体制】

役職	氏名	所属
事業統括責任者	隅岡 敦史	NPO 法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター理事

【担当顧問】

氏名	所属
北岡 有喜	国立病院機構京都医療センター医療情報部長

4. 研究会事業（産官民学の活発な人材交流）

4-1. 京都研究会

毎年恒例となっている研究会事業の京都研究会について、2019-2020年度は2020年1月17日（金）に開催を予定している。内容は以下の通り。

■ 第21回京都研究会 2019-2020

<http://www.sccj.com/kk/2019-2020/>

「ICTによる地域からのSDGs（持続可能な開発目標）達成に向けて」

【内容】

- 13:00～ 受付開始
- 13:30～13:35 開会の挨拶：新川 達郎（同志社大学大学院総合政策科学研究科教授/NPO法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター代表理事）
- 13:35～14:20 「持続可能な開発目標（SDGs）の達成のためのICTによる地域イノベーション」
講演：新川 達郎（同志社大学大学院総合政策科学研究科教授/NPO法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター代表理事）
- 14:20～14:50 「越境する交流～小さな行動が起こすイノベーション～」
講演：畑井 克彦 氏（阪神・智頭NPOセンター代表理事）
- 14:50～15:40 「耐久消費財のSDGs～家具のサービス化事業とは～」
講演：竹原 司（株式会社ファーマティジ代表取締役社長/NPO法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター副代表理事）
- 15:40～15:55 休憩
- 15:55～16:45 「ポケットカルテ®最新情報～マイナポータルとの連携による住民健診データの利活用を中心に～」
講演：北岡 有喜（独立行政法人国立病院機構 京都医療センター医療情報部長/NPO法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター顧問）
- 16:45～16:50 ステージ調整
- 16:50～17:20 【総合討論会】『ICTによる地域からのSDGs（持続可能な開発目標）達成に向けて』
コーディネータ：新川 達郎（同志社大学大学院総合政策科学研究科教授/NPO法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター代表理事）
- 17:20～ 閉会の挨拶：竹原 司（株式会社ファーマティジ代表取締役社長/NPO法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター副代表理事）

第2部 分科会（茶話会）：閉会後～18:30

【会場】同志社大学烏丸キャンパス 志高館 SK289 教室

住所：京都市上京区烏丸通上立売上る相国寺門前町 647-20

電話：075-251-3120【参加費】有料

・研究会（13:30～）のみの参加

一般：1,000円

SCCJ 会員（みあこ・どこカル、ネット企業・団体会員/個人・学生・ベテラン会員）および地方公共団体職員の方：無料

・研究会、分科会（閉会後～18:30）すべて参加

一般：2,000円

SCCJ 会員（みあこ・どこカル、ネット企業・団体会員/個人・学生・ベテラン会員）および地方公共団体職員の方：無料

【運営体制】

主催：特定非営利活動法人日本サステナブル・コミュニティ・センター

後援：京都市、IT コンソーシアム京都

【定員】30名

5. 広報・マーケティング

Web サイト、プレスリリース、各種メールマガジンの広報・マーケティングを行った。

5-1. 各種メールマガジン運営

SCCJ 関連で、テーマ、目的別のメールマガジンが 10 数本あり、ネット上で協働作業や情報交換を行っている。その中でも一般情報交換用メールマガジン「aibousan」は、誰でも入れる双方向型のメールマガジンで、設立当初の 1999 年の 190 名から、2019 年 12 月末に登録者は 536 名である。

5-2. Web サイト運営

2019 年現在運営しているサイトは以下の通り。

- ・ SCCJ <http://www.sccj.com/>
- ・「みあこネット」方式普及支援事業 <http://www.miako.net/>
- ・どこカル ネット <http://www.dokokaru.net>
- ・ポケットカルテ <http://pocketkarte.net/>
- ・アグリライフ <http://www.agri-life.net/>

6. 会員について（2019 年 12 月末現在）

<SCCJ 正会員>

会員種別	継続	新規	計
一般	21	3	24
学生	0	0	0
合計	21	3	24

<どこカル ネット企業・団体会員>30 社

詳細は「どこカル ネット」項目を参照のこと。

II センター運営に関する活動

1. 総会

特定非営利活動法人日本サステナブル・コミュニティ・センター 総会

日時：2019 年 2 月 21 日（木）12:30-13:00

会場：どこカル ネット事務局（京都市伏見区深草枯木町 33-1-303）

2018 年度活動報告、収支報告、2019 年事業について了承された。

2. 2019 年度 SCCJ 理事会開催日

下記の日程に於いて、理事、事務局スタッフによる定期理事会を開催した。

- ・ 2019年1月25日
- ・ 2019年2月21日
- ・ 2019年3月14日
- ・ 2019年4月19日
- ・ 2019年5月17日
- ・ 2019年6月21日
- ・ 2019年7月19日
- ・ 2019年8月23日
- ・ 2019年9月27日
- ・ 2019年10月18日
- ・ 2019年11月22日
- ・ 2019年12月13日

3. 事務局体制 (2019年12月末現在)

(1) 職員

常勤：1名

どこカル ネット事業運営責任者：事業統括責任者兼務

プロジェクト・コーディネータ：小川麻理

どこカル ネットボランティア：5名

4. 理事、監事、顧問 (2019年12月末現在)

(50音順)

代表理事	新川 達郎	同志社大学大学院総合政策科学研究科教授
理事	竹原 司 (副代表理事)	株式会社ファーニティジ代表取締役社長
	平澤 創	株式会社フェイス代表取締役社長
	隅岡 敦史	静原ミレットファーム
監事	土井 充	公認会計士 土井充事務所
顧問	跡田 直澄	京都先端科学大学経済経営学部特任教授
	北岡 有喜	国立病院機構京都医療センター医療情報部長
	國領 二郎	慶應義塾常任理事
	辻 正次	学校法人八代学院神戸国際大学経済学部教授
	町田 洋次	元社団法人ソフト化経済センター理事長
	三木 秀夫	弁護士・大阪 NPO センター理事

以上